別紙２（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

学校番号	40	学校名	静岡県立科学技術高等学校	課程等	定時制(夜)
令和３年度	教育課程表（乙）			整理番号	１／１

教科	科目	標準単位数	工業技術科 1年	2年	3年	1～3年次 併修・清水技術・高卒認定	4年	週当たり授業時数 科目別	教科別
国語	国語総合▲	4	2	2					
	国語表現	3		自由選択(●)２×①～②	自由選択(●)２×①～②	△3			
	実用国語演習	2		—	—		2×②		
地理歴史	世界史Ａ	2		2			自由選択(●)		
	世界史Ｂ	4				④ △4	２×①～②		
	日本史Ａ	2			2				
	日本史Ｂ	4				④ △4			
	地理Ａ	2		—	—	△2	—		
	地理Ｂ	4				④ △4			
公民	現代社会	2	2						
	倫理	2				② △2			
	政治・経済	2				② △2	—		
数学	数学Ⅰ▲	3	2	2					
	数学Ⅱ	4				④			
	数学活用	2		—	—		—		
	数学Ａ	2				②	—		
理科	科学と人間生活	2	2						
	物理基礎	2		2					
	化学基礎	2				③ △2	2		
	生物基礎	2		—	—	③ △2	—		
	地学基礎	2				△2			
保健体育	体育	7～8	2	2	3		2		
	保健	2	1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2			—				
	美術Ⅰ	2			— 2				
	工芸Ⅰ	2			—				
	書道Ⅰ	2			—				
外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語基礎	2	2						
	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ▲	3			2		2		
家庭	家庭基礎	2		2					
共通教科計			13	13～17	9～13	０～	10～14		
工業	工業技術基礎▲	2～6	3	—	—		—		
	課題研究▲	2～6			3，1～3				
	実習▲	2～18		3，1～3	3，1～3		3		
	製図▲	2～12			2		2		
	工業数理基礎	2～4		—	—		—		
	情報技術基礎▲	2～4		2					
	生産システム技術	2～8		—	—		—		
	機械工作	2～8					2		
	機械設計	2～8			2				
	原動機	2～8		—	—		—		
	自動車工学	2～8		—	—	④	—		
	電気基礎▲	2～10	1	1					
	ﾊｰﾄﾞｳｪｱ技術	2～10		—	—		—		
	職業研究▲	2	2						
	ガス溶接	1				(1■)			
	アーク溶接	1				(1■)			
	普通旋盤作業	1				(1■)			
	フライス盤作業	1				(1■)			
	機械CAD演習	1				(1■)			
	建築CAD演習	1				(1■)			
	CAD/CAM	1				(1■)			
	CAD演習Ⅰ	6				(6■)			
	CAD演習Ⅱ	6				(6■)			
	木工演習Ⅰ	6				(6■)			
	木工演習Ⅱ	6				(6■)			
	木工演習Ⅲ	5				(5■)			
	産業技術Ⅰ	8				(8■)			
	産業技術Ⅱ	9				(9■)			
	産業技術Ⅲ	8				(8■)			
	産業技術Ⅳ	9				(9■)			
体育	スポーツⅡ	2～10		—	—		—		
インターンシップ	就業体験	1～6	(1～3◆)	(1～3◆)					
	実習実践	1～6	(1～3◆)						
	マナー実践	1～6	(1～3◆)	(1～3◆)	(1～3◆)				
専門教科計			6～12	6～16	10～20	０～	7～11		
教科合計			19～25	19～29	19～29		17～21		
自立活動		1～7	□	□	□		□		
合計			19～25	19～29	19～29		17～21		
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1		1		
備考			「情報の科学」は、「情報技術基礎」で、「総合的探究の時間」は、「課題研究」で代替する。「溶接」・「旋盤」・「ﾌﾗｲｽ」・「機械CAD演習」・「建築CAD演習」・「CAD/CAM」は６日、「CAD演習Ⅰ・Ⅱ」は２ヶ月、「木工演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は２ヶ月、「産業技術演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は６ヶ月行う。「CAD演習」はⅠ・Ⅱ、「木工演習」はⅠ・Ⅱ・Ⅲ、「産業技術演習」はⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順序で履修する。（■）は静岡県立清水技術専門校との連携による自校以外における学修の単位認定。（◆）は学校設定教科「ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ」、学校設定科目「就業体験」「実習実践」「マナー実践」は就業体験を単位認定するものであり、単位数も時間数に応じて1～3単位まで認定する。1年次は「就業体験」と「実習実践」、「就業体験」と「マナー実践」の合計６単位まで履修可能。２年次は「就業体験」と「実務代替による増単」、「就業体験」と「マナー実践」の合計６単位まで履修可能。３年次は「実務代替による増単」による６単位、あるいは「マナー実践」による３単位まで履修可能。（▲）は、技能審査と就業の成果を単位認定する科目。（○）は定通併修、（△）は高卒認定で単位を認定する科目。（●）は自由選択により、学年の枠を超えて同一集団編成としている。					
生徒数	男								
	女								